



「夢を生きる」

女性と女性の豊かな未来をつなぐソロフキミスト



統一行動：“キャッチ！SOS” キャンペーン



11月25日は「女性に対する暴力撤廃デー」

キャッチ！SOS：暴力から脱出する勇気を持ちましょう

SI 帯 広

帯広大谷短期大学の大学祭に訪問。Σソサエティーの「ありんこ」のボランティア学生としばし歓談・交流の時間を持ちました。その後、一緒に「女性に対する暴力撤廃」のキャンペーンボードを持って、にっこり。



SI 旭川



SI 滝川

統一行動“キャッチ！SOS”キャンペーン 11月25日の「女性に対する暴力撤廃デー」の活動をいたしました。消費者協会主催の講演会があり、入り口で“ドメスティックバイオレンス防止”のカードを来場者に声掛けと共に手渡しました。多くの市民の皆さんにこの活動を理解して頂き、防止の手助けをして頂ける事を願っています。



SI 南陽

SI 南陽は 11 月 3 日に行った第 8 回チャリティーワインパーティーへの来場者に対し DV 防止ティッシュを配布し、女性に対する暴力撤廃の理解を求めました。



SI 仙台

SI 仙台は「みやぎ被害者支援センター」を支援しております。11 月 12 日に「県民のつどい」があり、SI 仙台より代表者 2 名が出席いたしました。大藪信子氏(フォトジャーナリスト)のご自身もアメリカでレイプされた被害者の一人として心の叫びを訴える講演がありました。その報告を聞き、改めて女性に対する暴力に立ち向かうべく、会員一同でメッセージを書きアピールしました。



会員からのメッセージ

- ♥暴力から立ち上がろう!
- ♥あなたの孫や娘だったら...
- ♥泣き寝入りするな!
- ♥一人でできることはわずかでも力を合わせれば非常に多くを成し遂げられる

- ♥暴力反対!!
- ♥勇気をもって暴力から守りましょう!
- ♥一人で悩まないで!
- ♥勇気をもって NO!
- ♥STOP DV! LOVE
- ♥暴力反対!
- ♥STAND UP! ~未来のために~
- ♥勇気を持とう ノー!
- ♥前を向いて生きよう!
- ♥STAND UP!
- ♥STOP! DV!!
- ♥“NO”という勇気を持とう!!
- ♥NO!と声を上げて!
- ♥暴力のない日常を!
- ♥暴力から立ち上がれ!
- ♥泣き寝入りするな ゴールを目指せ!
- ♥ゴールは“女性と女児のしあわせ”

SI 宮 城

母校の同窓会の集まりにて、協力をしてもらいました。みなさん街で最近見かける様になったキャッチフレーズを『自分がキャッチコピーを持つと、より実感するね』と女性に対する暴力撤廃の一助になる事を願っていました。



SI 秋 田

☆11/28(土)秋田駅ポポロードに於いて SI 秋田が支援している.身障者施設の方々が、施設に関する署名運動を展開している傍らで、「許しません DV！」国際ソロプチミスト秋田と印字したティッシュペーパーを一般市民に配布して女性に対する暴力撤廃を訴えました。

☆12/12(土)支援している S クラブのクリスマス聖歌隊と共に、特に往來の激しい師走の秋田市民市場付近で、DV 禁止！の SI 秋田作成のティッシュペーパーを買い物のお客様に配布して、国際ソロプチミストの統一行動 キャッチ SOS キャンペーン女性に対する暴力撤廃デーをアピールしました。



SI 気仙沼

気仙沼市家庭教育大会の会場にて「女性に対する暴力撤廃の国際デー」キャッチ SOS キャンペーンのパンフレットとティッシュを配布する。沢山の市民にアピールすることができました。



SI 大館

- ❖「暴力撤廃デー」のチラシを配布しながら主旨を説明しながらパープルリボンの協力をお願いしている。
- ❖終了間際の SI 大館参加会員



SI 帯広みどり

齊藤弁護士事務所がバックボーンとなり駆け込みシェルター支援を行っています。
 帯広に「駆け込みシェルターとかち」を立ち上げた当初 1997 年からSI帯広みどりは関わっています。
 現在は 60,000 円を支援金としています。年間 20 人ほどの方々が利用しています。
 一年に 2 回報告を受けております。



◆国際ソロプチミスト(SI)帯広みどり(田中静江会長)が「駆け込みシエルターとかち」に支援金6万円を寄付
25日、帯広市内の斉藤法律事務所で受け渡しが行われた。同シエルターから事務局長の中村清人弁護士らが出席し、田中会長から支援金を受け取った。田中会長は「少しでも力になれば」と話し、中村弁護士は「DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者の支援活動に活用させていただくと感謝した。」
同SIは毎年、「女性に対する暴力撤廃デー」(11月25日)に合わせて寄付を行っている。
同シエルターは、DV被害者の保護や支援を行う民間組織。

2015.11.27 十勝毎日新聞に掲載されました

SI 能 代

県と市が毎年行っている「DV防止」「児童虐待防止」街頭キャンペーンに参加。市職員や他団体と一緒にピンクのジャンパーを着て参加。
県が用意した花の種を添えたリーフレット、チラシを配布。場所は日曜の午前中にぎわういとくショッピングセンター



能代市 女性と児童守ろう 買い物客らに訴え

女性への暴力や児童虐待を防ぐと能代市は15日、同市寺向のいとく能代ショッピングセンター前で街頭キャンペーンを展開し、写真、一人を悩ます関係機関に相談するよう呼び掛けた。
「女性に対する暴力をなくす運動期間12月25日」児童虐待防止推進月間(11月)に合わせて毎年実施。
能代署、東北児童相談所、国際ソロプチミスト能代、市子育て支援課、市民生児童委員、能代地区少年保護育成委員ら23人が参加。300セット用意したリーフレットなどを手渡した。
「みんなで防ごう児童虐待」をテーマに、DV(ドメスティック・バイオレンス)と書かれたのぼりを持ち、関係機関の相談窓口を紹介するリーフレットと「児童虐待は社会全体で解決すべき問題」と訴えるチラシなどを配布した。

SI 新 庄

市内の二つのスーパーに分かれて DV 防止のチラシを入れたティッシュを配りました。



SI 八 戸

SI 八戸では産科婦人科医師の真鍋会員による「デートDVについて」の講演を行い、実態を勉強し、認識を深めた。講演後、参加会員で思いを書いたボードを掲げ、女性に対する暴力撤廃を訴えた。



SI 釧路

11月21日女性に対する暴力撤廃デーに合わせ、釧路短期大学の学園祭会場内で、配偶者や恋人から受ける暴力(DV)についての理解を深めてもらうための、啓発運動を行いました、



金川 路 新 聞
平成27年(2015年)11月23日(月曜日)

DV被害の阻止
釧路大で啓発
国際ソロプチミスト釧路
国際ソロプチミスト釧路
(浪岡敏子会長)は、女性

11月25日)にあわせて21日、
釧路短期大学の学園祭「第
36回総輝祭」の会場内で配

学生たちに資料を配付する国
際ソロプチミスト釧路のメン
バー

偶者や恋人から受ける暴力
(DV)についての理解を
深めてもらうための啓発活
動を実施した。

今回の活動は、「暴力か
ら脱出する勇気を持ちまし
よう」を合言葉に「DVト
ムスティック パイオレン
ス」の被害を受けている
実態や危険性などを知らせ
る資料や、より良い人間関
係をつくるための役立つ資
料などを配付した。

(伊東義晃)

SI 静内

樋口会長、他7名が「女性に対する暴力撤廃デー」を記した用紙をポケットティッシュにセットし、コープ札幌静内店前で買い物客に暴力撤廃を呼びかけながら手渡しました。



SI 北見みんと

冬将軍の訪れを告げる暴風雪の翌日、SI北見様と合同で、厳しい寒さの中、持ち前の笑顔でパンフレット配付し、キャンペーン活動を行いました。



SI 横手

11月3日(火)市内大型スーパーで横手市職員3名、横手城南高校Sクラブ14名、当会員10名によりチラシとマスクを配付しながら、子ども虐待防止、DV防止、デートDV防止運動を開催。その後横手市主催の同運動に関する講演会に参加。



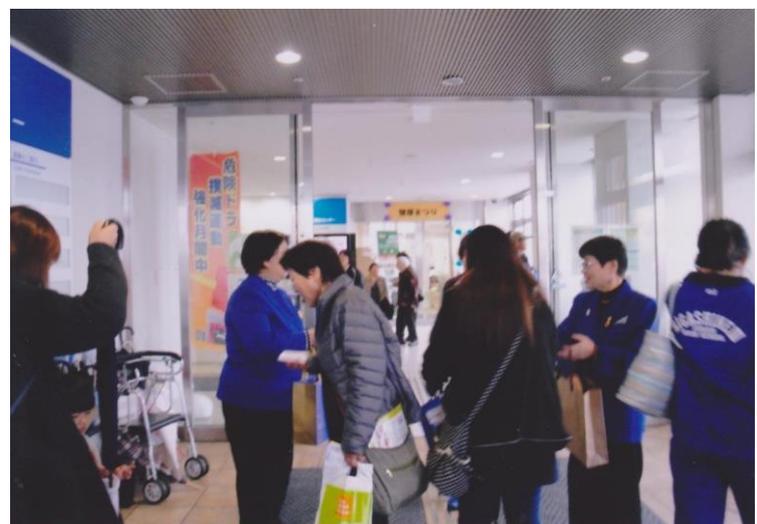
SI 釧路アミティ

10月例会でDVパンフレットを会員に配布し、知人等へ個々の啓発活動をお願いしました。11月例会では、ソロプチミスト日本財団活動資金援助並びにクラブ賞贈呈式での受賞者の方達に、また「夢を拓く:講演会」開催時には参加Sクラブの女子高校生に啓発活動をしました。



SI 東 根

11月8日(日)東根市の生涯学習フェスティバルに合わせ会場のさくらんぼタンクルセンターの入り口2か所でDVカード入りティッシュ約500個を配布しました。



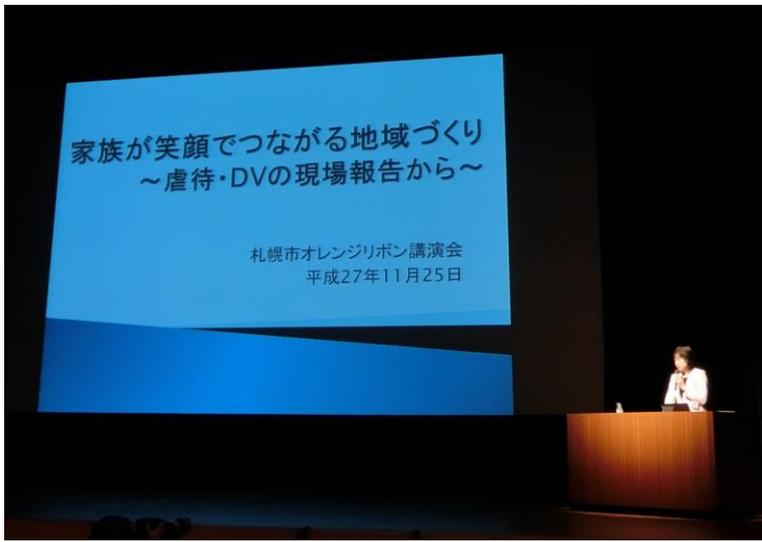
SI 郡 山

SI 郡山は女性に対する暴力撤廃デーの11月25日に、HPで公募した衣類、おもちゃ、約200点を福島県女性のための相談センターへお届けいたしました。2004年より継続しているこの活動は、地方紙に掲載されました。



SI 札 幌

11月25日、女性に対する暴力撤廃国際デー統一行動の一環として札幌市児童相談所主催のオレンジリボン講習会に参加しました。ジャーナリスト石川結貴氏による「虐待・DVの現場報告から、家族がつながる地域づくり」の講演後、メッセージボードを掲げ写真撮影をしました。



SI 山形

去る11月20日の例会にDV防止啓発運動の一環として、山形警察本部生活安全企画部の警視を招き講演会を実施しました。演題は「警察から見たDVの実態について」でした。



SI 名 寄

11月14日名寄市の道立サンピラーパーク「サンピラー交流館」において、名寄市立大学の学生と名寄クラブ会員がカーリングを通して交流致しました。カーリングは学生の方々にも好評をいただいたということで昨年に続き2度目となります。その折に私達の活動であります“キャッチ！SOS”キャンペーン、「女性に対する暴力撤廃デー」活動等へのご理解もいただき写真撮影致しました。



SI 留 萌

認証 35th 記念チャリティークリスマスパーティー開催時、受付でご来場の皆様すべて(150名)にポケットティッシュに入れたDVカードをお渡しし、キャッチ SOS キャンペーンを呼びかけ、活動に関心を寄せて頂きまし



SI 留萌

12月配布カード

女性が安全だと感じること・・・それは当然の権利です。

「キャッチ！SOS」キャンペーン
 実行委員会
 SCROPTIMIST RUMOI
 留萌市ボランティア活動推進課

DV相談カード表

配付時 一人の顔に届いていませんか？
 一人で読まずお声援を。

◎日本赤十字社留萌センター TEL: 014-566-2603
 ◎留萌市保健福祉センター TEL: 014-562-0003
 ◎留萌市人権センター TEL: 014-562-7900
 ◎留萌市社会福祉協議会 TEL: 014-562-0400
 ◎留萌市ボランティアセンター TEL: 014-562-1388
 ◎留萌市公民館 TEL: 014-562-1111

私達は留萌市の女性と市民の
 幸せを願い支援活動をしています。

DV相談カード裏

SI 大船渡

12月24日、地元ラジオ局 IBC によるチャリティー募金活動に合わせ、協力金を渡し、募金のお手伝いを行いました。同時に DV 撤廃をうたったカードを入れたティッシュを配り、乳がん撲滅のピンクリボン、幼児虐待撲滅オレンジリボンを配布しました。参加会員数10名



SI 美唄

11月例会時と地域で行われたチャリティーダンスパーティ、バザーをする事で協賛しその時にキャンペーンボードを持ちアピールをしました。



SI 北見

まちきた大通ビルパラポ前にて化粧品の試供品を添えて DV シェルターカード等リーフレットを配布し女性への暴力防止を呼びかける街頭啓発を行いました。



SI いわき中央

女性に対する暴力撤廃デーの国際デーに合わせ国際ソロプチミストいわき、いわき中央、マリニいわき三クラブ
 合同で JR いわき駅前鹿島ショッピングセンター「エプリア」で、チラシやポケットティッシュを配布啓発しました。
 市の子ども家庭課からも協力頂けました。

福島民報 12月26日(木)掲載

女性への暴力なくそう

いわき市と国際ソロプチミストいわき、同いわき中央、同マリニいわきなどは25日、JRいわき駅前などで児童虐待防止推進月間と「女性に対する暴力をなくす運動」に伴い、街頭啓発活動を行い、通行人らに暴力防止を訴えた。

11月の「児童虐待防止推進月間」、12月25日の「女性に対する暴力をなくす運動」などと呼び掛けられた。

児童虐待防止も

25日の「女性に対する暴力撤廃国際日」に合わせた啓発キャンペーンとして行われた。

JRいわき駅前には、約15人が参加。参加者らは、暴力ストップ」などと書かれたポケットティッシュを配りながら、通行者らに「児童虐待や女性への暴力をなくそう」などと呼び掛けられた。



通行人らに児童虐待防止や女性への暴力防止を訴えた参加者

女性への暴力なくそう

国際ソロプチミストいわき市内2カ所で啓発活動

25日の「女性に対する暴力撤廃国際日」に合わせ、国際ソロプチミストいわき、いわき中央、マリニいわきなどの市内3組織による街頭啓発活動が同日、JRいわき駅前、鹿島ショッピングセンター「エプリア」で行われた。

エプリアでの街頭啓発活動には、国際ソロプチミストいわき、いわき中央、マリニいわきの15人が参加。ポケットティッシュを配布しながら、買い物客に対し、女性に対する暴力撤廃などについて訴えた。

国際ソロプチミストの活動に合わせ、市子ども家庭課が「児童虐待防止推進月間」を呼びかける広報も展開した。



買い物客に呼びかけを行う参加者

女性への暴力なくそう

鹿島ショッピングセンター「エプリア」で女性や子どもへの暴力防止など訴える街頭啓発活動

25日の「女性に対する暴力撤廃国際日」に合わせ、国際ソロプチミストいわき、いわき中央、同マリニいわきなどは、市内3組織による街頭啓発活動が同日、JRいわき駅前、鹿島ショッピングセンター「エプリア」で行われた。

エプリアでの街頭啓発活動には、国際ソロプチミストいわき、いわき中央、マリニいわきの15人が参加。ポケットティッシュを配布しながら、買い物客に対し、女性に対する暴力撤廃などについて訴えた。



街頭啓発活動に参加したメンバー